MAXHUB All in One Meeting Board V6 CFシリーズ / V5 Cシリーズ 画面投影不具合のトラブルシューティング

2024年6月26日 ナイスモバイル株式会社 CX推進課

> ユーザーサポート・お問い合わせ先 Mail: qa@nicemobile.jp





ワイヤレス画面投影 技術情報

All in One Meeting Board (以下「MAXHUB」という)やPCにセキュリティ・IT資産管理ソフトウェア(以下「各種ソフトウェア」という)が インストールされている場合やActive Directoryドメイン参加(以下「AD参加」という)</u>をしている場合、画面投影の通信が遮断されたり、アプリ が駆除・隔離されたりして、画面投影に失敗することがあります。 必ず下記の通信・アプリ情報を確認し、設定を行ってください。

(各種ソフトウェアの操作・設定方法についてはソフトウェアの販売元やIT管理者様にお問い合わせください)

MAXHUBの通信・アプリ情報(必ずMAXHUB側は許可が必要) ローカルポート:7832-7435 リモートポート:指定なし

プロトコル: UDP/TCP 方向:送受信どちらも

フォルダパス(MAXHUBアプリ全体の格納場所):C:¥Program Files (x86)¥MAXHUB¥

PC の通信・情報 (ワイヤレスドングル USB Type-A接続 or MAXHUB Shareで画面投影する場合はPC側も許可が必要) ローカルポート:指定なし リモートポート:7832-7435 プロトコル:UDP/TCP 方向:送受信*ど*ちらも

フォルダパス(ワイヤレスドングル用アプリの格納場所):%AppData%¥ScreenShare フォルダパス(MAXHUB Shareアプリの格納場所) : C:¥Program Files (x86)¥MAXHUB¥MAXHUBShare





distributed by **NIMO**

ワイヤレスドングル画面投影 技術情報

ワイヤレスドングルは PC の USB Type-A端子に接続した場合と、 USB Type-C端子(映像出力対応)に接続した場合は、仕様が異なります。

USB Type-Aでのワイヤレスドングル投影の場合 PC上で画面投影ソフトウェアとワイヤレスドングルを利用してMAXHUBと通信します。 画面投影ソフトウェアはMAXHUB側の通信ポート7832-7435と通信します。 そのため、各種ソフトウェア・AD参加によって、MAXHUBやPCに通信ポートの制限や 画面投影ソフトウェア実行の制限がある場合、正常に画面投影されないことがあります。 必ずMAXHUBとPCの通信・アプリ情報(P.1参照)を許可してください。

USB Type-Cでのワイヤレスドングル投影の場合 (PCに映像出力用のType-Cポートが必要) PC上で<u>ワイヤレスドングル</u>を利用してMAXHUBと通信します。 (ワイヤレスドングルは外部ディスプレイとして認識されます。) PC側の画面投影ソフトウェアと通信ポートを利用しないため、 PC側は各種ソフトウェア・AD参加の影響を受けにくいことが特徴です。 MAXHUB側は各種ソフトウェア・AD参加の影響を受けるため、 必ずMAXHUB側は通信・アプリ情報(P.1参照)を許可してください。



トラブルシューティング ワイヤレスドングル

- ワイヤレスドングルで画面投影ができない 1/3-



- ワイヤレスドングルで画面投影ができない 2/3-



- ワイヤレスドングルで画面投影ができない 3/3-

MAXHUBもしくはPCに各種ソフトウェアがインストールされていますか? あるいはAD参加していますか?		
Yes	No	
各種ソフトウェア・AD参加が影響している可能性があります。 <u>P.1</u> を参照しMAXHUBとPCにそれぞれに許可設定を行ってくだ 設定後、改善しますか?	さい。	
いいえ or 設定できない		
MAXHUB側の各種ソフトウェアをアンインストール、 またはAD参加の利用を停止して改善しますか?	No MAXHUBソフトウェアのバグの可能性があります。 MAXHUBソフトウェアの書き直しを行い改善しますか? *各種資料をご参照ください	
Yes	No	
各種ソフトウェアまたはAD参加が原因です。MAXHUB以外の ウェアや機能が起因の不具合に関しては動作保証できかねます 各種ソフトウェア・AD参加の利用を停止しMAXHUBをお使い	ソフト ・ ください。	

トラブルシューティング MAXHUB Share (PC版)

画面投影アプリケーション「MAXHUB Share」は、MAXHUBと接続する方法が2通りあります。 接続方法ごとの必要な条件は下記のとおりです。

接続方法	条件
接続コードを入力 ② WUM X4J ② Enterを押して接続 ③ 付近のMAXHUB	 クライアント端末とMAXHUBが同一ネットワークに接続されている クライアント端末がMAXHUBのホットスポットに接続されている 上記2つの条件をいずれか満たしていること。
付近のMAXHUB PINコード入力 © 付近のMAXHUB	 PCのWi-FiがONになっている ホットスポットがONになっている MAXHUBの設定で「付近のMAXHUBを検出」がONになっている 上記3つの条件をすべて満たしていること。





V6 CFシリーズ

● PC suite 【CF】MAXHUB ソフトウェアアップデート手順 G6.6.1.47.pdf

V5 Cシリーズ

PC suite
 【C】MAXHUB ソフトウェアアップデート手順 G5.13.2.19.pdf

ITで会議DXを支援する ITで会議TXを支援する ITで会議TXを支援する

* MAXHUBは、中国Guangzhou Shizhen Information Technology Co.,Ltd.の中国およびその他の国における登録商標または商標です。

*本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。なお本文中では、TM、®マークは明記していません。